



概要

■ 全体スケジュール

開催日	主な検討内容
第1回 (9/25)	・エリアプラットフォームの位置づけ、目的、方向性の確認
第2回 (11/6)	・組織のあり方やエリアビジョンについてのアイデア出し
第3回 (12/18)	・組織のあり方やエリアビジョン(案)に関する協議・検討
第4回 (翌年1/30)	・組織のあり方やエリアビジョン(案)の確認

■ 第3回準備会の実施概要

日時	12月18日(木)14:30~16:30
場所	村上市教育情報センター2階 会議室AB
参加人数	22名(市内事業者9名、アドバイザー1名、オブザーバー2名、村上市4名、コンサルタント6名)
主な内容	1. 規約(案)及びエリアビジョン(案)について 2. 事業内容及び事業手法(LABV方式)について

協議・検討結果

■ エリアプラットフォーム設立規約について

- 事務局にて、村上版エリアプラットフォーム(仮)の設立規約(案)を作成し、参加者による協議を実施しました(規約(案)の構成は右表のとおり)。
- 作成にあたっては、立ち上げ期の協議会として無理なく参加でき、開かれた官民連携の話し合いの場として柔軟に運用できることを重視しました。
- 協議の結果、参加者から事務局案に対する大きな反対意見や修正案は示されず、規約(案)は原案のとおり了承されました。



村上版エリアプラットフォーム(仮)規約(案)の項目	
第1条 名称	第10条 事務局
第2条 目的	第11条 会議
第3条 活動	第12条 ワーキンググループ
第4条 構成員	第13条 経費
第5条 役員及び職務	第14条 秘密保持
第6条 役員の任期	第15条 禁止行為
第7条 構成員の選任及び交代	第16条 個人情報の取扱い
第8条 構成員の脱退	第17条 規約の改定
第9条 構成員の解任	第18条 雜則

■ エリアビジョンについて

- 第2回準備会で実施したグループワークの意見を基に、村上駅周辺まちづくりの将来像となるエリアビジョンの方向性について意見交換を行いました。
- 参加者からは、村上しさを生かした前向きで魅力的なエリアビジョンの検討に向けて、具体的なアイデアや意見が多数寄せられました。
- 今後は、これらの意見を整理・反映し、エリアビジョンのイメージをより具体化していく予定です。



エリアビジョンとは、まちづくりに関わるさまざまな関係者が、これからのまちの将来像を共有するための「ミライ設計図」です。

人々の「やってみたい」が集まり、さまざまなチャレンジが生まれている場所として表現したい！

一目見て村上だと感じられるような、村上しさを自然に連想できる表現があるとよい。

子どもたちがいきいきと遊ぶ様子や、誰もが使いやすいバリアフリーへの配慮が伝わる表現としてほしい。

一年を通して村上の魅力を楽しめる、というコンセプトを伝えたい！



駅からの人の往来や観光客の動きなど、にぎわいが感じられる様子を表現したい！

■ 事業内容及び事業手法(LABV方式)について

- 事業内容及び事業手法について、事務局より現時点での想定や検討の方向性を説明し、参加者間で質疑や意見交換を行いました。
- 特に事業手法については、選択肢の一つとして検討しているLABV(Local Asset Backed Vehicle)方式の概要を共有するとともに、村上市における活用の方向性について意見交換を行いました。
- LABV方式とは、地方公共団体が公有資産を現物出資し、民間事業者が資金やノウハウを提供して設立する官民共同事業体を事業主体とし、複数の開発事業を段階的に実施する官民連携手法です。

事業の方向性(案)

事業の方向性(案)

- 「地域住民の日常生活」と「観光のゲートウェイ」の両立
 - 地域住民が日々の買い物や週末のひとときを過ごせるよう、スーパーや商業施設、憩いの場を備えた「日常使いの施設」とする。
 - また、本市を訪れる観光客が、本市の魅力を知り・触れ・体験できる「観光のゲートウェイ(入口)」としての役割も担う。

村上総合病院跡地：複合施設

- 主なターゲット：地域住民と観光客
- 求める機能
 - 地域住民向け：日常生活を支えるスーパーや商業施設のほか、施設を訪れる人々の交流を生み出す空間を設ける。
 - 観光客向け：市の魅力や観光資源を知り・体験できる場とし、市内外観光への回遊を促す魅力発信の拠点とする。

ジャスコ跡地：広場／オープنسペース

- 主なターゲット：地域住民
- 求める機能：訪れる人々の憩いの場として活用するとともに、四季折々のイベント等を開催できる広場機能や、防災機能を併せ持つ空間とする。

